

## 安全データシート

### 1. 化学品及び会社情報

化学品の名称	: LCX603 Thermal Head Cleaner THC-1
会社名	: グラフテック株式会社
住所	: 〒244-8503 神奈川県横浜市戸塚区品濃町 503-10
担当部署	: 品質保証部
電話番号	: 045-825-6223
推奨用途及び使用上の制限	: LCX603 サーマルヘッド洗浄液 食品用途には使用しないこと。
整理番号	: MS-2303013

### 2. 危険有害性の要約

#### GHS分類

物理化学的危険性 : 引火性液体 区分4

#### 健康に対する有害性

: 急性毒性 (経口) 分類できない  
: 急性毒性 (経皮) 分類できない  
: 急性毒性 (吸入: 気体) 区分に該当しない  
: 急性毒性 (吸入: 蒸気) 分類できない  
: 急性毒性 (吸入: 粉じん、ミスト) 分類できない  
: 皮膚腐食性/刺激性 分類できない  
: 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 区分2  
: 呼吸器感作性 分類できない  
: 皮膚感作性 分類できない  
: 生殖細胞変異原性 分類できない  
: 発がん性 分類できない  
: 生殖毒性 分類できない  
: 生殖毒性・授乳に対する又は授乳を介した影響 分類できない  
: 授乳に対する又は授乳を介した影響 分類できない  
: 標的臓器/全身毒性(単回暴露) 区分3 (麻酔作用、気道刺激性)  
: 標的臓器/全身毒性(反復暴露) 分類できない  
: 誤えん有害性 分類できない

#### 環境に対する有害性

: 水生環境有害性 短期 (急性) 分類できない  
: 水生環境有害性 長期 (慢性) 分類できない  
: オゾン層への有害性 分類できない

#### GHSラベル要素:

##### 絵表示



##### 注意喚起語

: 警告

##### 危険有害性情報

H227 可燃性液体  
H320 眼刺激  
H335 呼吸器への刺激のおそれ (麻酔作用、気道刺激性)  
H336 眠気またはめまいのおそれ (麻酔作用、気道刺激性)

注意書き

【安全対策】

- P210 熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざけること。－禁煙
- P264 取扱後は手をよく洗うこと。
- P261 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。
- P271 屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。
- P280 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

【応急処置】

- P370+P378 火災の場合：消火に泡、粉末、炭酸ガスを使用すること
- P305+P351+P338 眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。
- P337+P313 眼の刺激が続く場合、医師の診断/手当を受けること。
- P304+P340 吸入した場合、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
- P312 気分が悪いときは医師に連絡すること。

【保管（貯蔵）】

- P403+P235 換気の良い場所に保管すること。涼しいところにおくこと。

【廃棄】

- P501 内容物/容器を法令で指定された処理業者にて処理すること。
- 国・地域情報：

3. 組織、成分情報

化学物質・混合物の区別：混合物

化学名又は一般名：ポリプロピレングリコールと赤色顔料との混合物

組成、成分情報

成分名	CAS No.	化審法 官報番号	濃度又は濃度 範囲(wt%)
ジプロピレングリコールモノメチルエーテル (DPGME)	34590-94-8	2-426、7-97	60-80
ジエチレングリコールモノエチルエーテルアセテート	112-15-2	2-744	20-40

4. 応急措置

- 吸入した場合：ただちに新鮮な空気のある場所へ移動させ安静にし、気分が悪い時は医師に連絡すること。
- 皮膚に付着した場合：多量の水及び石鹸で洗い落とす。水痘痛みなどの症状がでた場合には、必要に応じ医師の診断を受ける。
- 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続ける。医師の手当、診断を受けること。
- 飲み込んだ場合：水でよく口の中を洗浄する。医師の手当、診断を受けること。無理に吐き出させてはならない。

5. 火災時の措置

- 適切な消火剤：泡、粉末、二酸化炭素が有効である。
- 使ってはならない消火剤：データなし。
- 火災時の危険有害性：引火性の高い液体および蒸気。  
火災によっては、刺激性、毒性のガスを発生させるおそれがある。
- 特定の消化方法：危険でなければ火災区域から容器を移動する。  
容器が熱に晒されているときは、移動しない。  
安全に対処できるならば着火源を除去すること。
- 消化を行う者の特別な保護具及び予防措置：適切な保護具（手袋、眼鏡、マスク）を着用する。

## 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	: 屋内の場合処理が終わるまで必要に応じ換気を行う。 漏出した場合は周辺にロープを張るなどして、関係者以外の立ち入り禁止する。こぼれた場所は滑りやすいので注意する。 作業に際しては保護具（「8. 曝露防止及び保護措置」の項を参照）を着用する。
環境に対する注意事項 (封じ込め及び浄化の方法・機材)	: 流出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。 : 漏れた液やこぼれた液を密閉式の容器にできる限り集める。 : 少量の場合は、吸収剤（おがくず・土・砂・ウエスなど）で吸着させ取り除いた後、残りをウエス、雑巾でよく拭き取る。 大量の場合は、土砂など（の不燃物）で囲って流出を防止し、スコップまたは吸引機などで空容器に回収する。 用いる全ての設備は接地する。
二次災害の防止策	: すべての発火源を速やかに取り除く。（近傍での喫煙、火花や火炎の禁止）排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ

## 7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	
技術的対策	: [8. 曝露防止及び保護措置]に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。
安全取扱注意事項	: 火気注意。接触、吸入又は飲み込まないこと。目との接触を避ける。 ミスト、蒸気を吸入しないこと。取扱い後は良く手を洗うこと。
接触回避 衛生対策	: 「10. 安定性及び反応性」を参照 : 取り扱い後はよく手を洗うこと。
保管	
技術的対策	: 保管場所には危険物を貯蔵し、又は取り扱うために必要な採光、照明及び換気の設備を設ける。
混触危険物質	: 「10. 安定性及び反応性」を参照
適切な保管条件	: 酸化剤から離して保管すること。換気の良い湯所で保管すること。
安全な容器包装材料	: 金属製の石油缶やポリエチレン、ポリプロピレン製容器。

## 8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度	: 設定されていない。
許容濃度	: 設定されていない 日本産業衛生学会（2019年版） 設定されていない
設備対策	: 屋内作業所での使用の場合は発生源の密閉化または局所排気装置を設置することが望ましい。取扱い場所の近くにシャワー、手洗い、洗眼設備を設け、位置を明瞭に表示する。
保護具	
呼吸器の保護具	: 状況に応じ、有機溶剤用マスク等を使用。
手の保護具	: 不浸透性保護手袋
眼、顔面の保護具	: 側板付保護眼鏡（必要によりゴーグル型又は全面保護眼鏡）
皮膚及び身体の保護具	: 帯電防止性能を有する、長袖の保護衣及び安全靴
特別な注意事項	: 情報なし

## 9. 物理的及び化学的性質

物理状態	: 無色液体
臭い	: 特徴的な臭気
沸点又は初留点及び沸騰範囲	: 189℃以上
可燃性	: あり
爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界	: 下限： 1.1vol%      上限： 10.9vol%

作成日： 2012年1月24日  
更新日： 2023年3月20日

整理番号 MS-2303013(LCX603 Thermal Head Cleaner THC-1)

引火点	: 85°C以上
自然発火点	: データなし
分解温度	: データなし
pH	: 非該当
動粘性率	: 10 mPas・s 以下 (20°C)
溶解度	: 水に不溶、低級アルコール、グリコールエーテルに可溶
蒸気圧	: DPGME 53.2 Pa (25°C)
密度及び/又は相対密度	: 未測定
相対ガス密度 (空気 = 1)	: DPGME 5.1
粒子特性	: 液体のため非該当
その他のデータ	: 情報なし

## 10. 安全性・反応性

---

反応性	: 通常の取り扱い条件下では反応しない。
化学的安定性	: 通常の取り扱い条件下では安定である。
危険有害反応可能性	: 酸化剤と激しく反応し、火災や爆発の危険をもたらす。
避けるべき条件	: 高温
混触危険物質	: 強酸化剤
危険有害な分解生成物	: 燃焼により二酸化炭素及び一酸化炭素を生成する可能性。

## 11. 有害性情報

---

急性毒性	: LD50(経口) ラット 5400mg/kg (DPGME) 区分外 インクとしては分類できないとした。 LD50(経皮) ウサギ 9500mg/kg (DPGME) (区分外) インクとしては分類できないとした LC50(吸入) データなし (分類できない)
皮膚腐食性/刺激性	: はデータなし
眼に対する重篤な損傷性/刺激性	: DPGME はウサギの眼に適用した試験において軽度な角膜刺激性が認められた。(区分2)
呼吸器感作性	: データなし (分類できない)
皮膚感作性	: データなし (分類できない)
生殖細胞変異原性	: データ不足 (区分できない)
発がん性	: データなし (分類できない)
生殖毒性	: データなし (分類できない)
特定標的臓器/単回ばく露	: データなし (分類できない)
特定標的臓器/反復ばく露	: データなし (分類できない)
誤えん有害性	: データなし (分類できない)
その他	:

## 12. 環境影響情報

---

製品の環境影響情報	: データなし
成分の環境影響情報	
水生環境有害性 短期 (急性)	: データなし
- 生態毒性	
- 残留性・分解性	
- 生体蓄積性	
- 土壌中の移動性	
水生環境有害性 長期 (慢性)	: データなし
- 生態毒性	
- 残留性・分解性	
- 生体蓄積性	
- 土壌中の移動性	
オゾン層への有害性	: モントリオール議定書の附属書に列記されていないため 分類できないとした。

### 1.3. 廃棄上の注意

---

- 残余廃棄物 : 都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物業者に処理を委託する。
- 汚染容器・包装 : 容器を洗浄してリサイクルするか、廃棄する場合は、内容物をできるだけ除去後に処分する。これを含む排水は活性汚泥等の処理により清浄にしてからでないとは排出してはならない。都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物業者に処理を委託する。

### 1.4. 輸送上の注意

---

- 国際規制  
陸上輸送 (ADR/RID の規定に従う) : 区分に該当しない  
海上輸送 (IMO の規定に従う) : 区分に該当しない  
航空輸送 (ICAO/IATA の規定に従う) : 区分に該当しない  
輸送又は輸送手段に関する特別な安全対策  
輸送に際しては、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。

国内規制がある場合の規制情報

- 陸上規制情報 : 消防法の規定に従う  
海上規制情報 : 該当しない  
海洋汚染物質 : 該当しない  
航空規制情報 : 該当しない

### 1.5. 適用法令

---

- 労働安全衛生法 : 該当しない  
化管法 (PRTR) : 該当しない  
消防法 : 危険物第4 類第3 石油類水溶性液体危険等級Ⅲ  
船舶安全法 : 該当しない  
航空法 : 該当しない

### 1.6. その他の情報

---

- 参考文献： 独立行政法人 製品評価技術基盤機構(nite) GHS分類結果  
J I S Z7252-2019 GHS に基づく化学物質の分類方法  
J I S Z7253-2019 GHS に基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法—ラベル,  
作業場内の表示及び安全データシート  
経済産業省GHS 分類ガイダンス

記載内容の取扱い

本記載の内容はJIS Z7252-2019、JIS Z7253-2019 に準拠し現時点で弊社が入手した情報等に基づき作成されたものでありますが、必ずしも十分でない可能性がある。このため本製品の取り扱いには十分な注意が必要である。この安全データシートの記載内容については、法令の改正や新しい知見に基づき改定が必要となる場合がある。また、注意事項は、通常的な取扱いを対象としたものなので、特殊な取扱いの場合には、用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご使用下さい。